

令和元年度 事業報告書



社会福祉法人 ほうりんかい 峰林会

特別養護老人ホーム峰林荘
短期入所生活介護事業所
峰林荘通所介護事業所
すずらん訪問介護事業所
あかり居宅介護支援事業所
在宅介護支援センターもりや
ゆうゆうケア・ワン

運 営 理 念

「他人（ひと）を思いやる心」

1. ここでは、みんなが家族です
2. 明るく豊かな生活をめざして
3. 地域、家族の幸せをめざして
4. 健康で明るい地域福祉の発信所

目 次

I. 法 人.....	3
II. 特別養護老人ホーム 峰林荘.....	6
III. 峰林荘短期入所生活介護事業所.....	9
IV. 医務課.....	10
V. 栄養調理課.....	10
VI. 各種委員会.....	11
VII. 峰林荘通所介護事業所.....	15
VIII. すずらん訪問介護支援事業所.....	16
IX. あかり居宅介護支援事業所.....	17
X. 在宅介護支援センターもりや.....	18
XI. デイサービスセンター ゆうゆうケア・ワン.....	18

〈 令和元年度 峰林会 事業報告 〉

運営理念に則り、安定したサービスの提供と質の向上を目指して事業を行った。

峰林会の各事業を利用している皆様に、安心してサービスを提供するためには、そこに働く職員が安心してサービスを提供できる体制作りには直接結びついている。その課題解決のためには、人材の活用、確保に向けて組織の再編と人件費の見直しを図る必要がある。そのため、コンサルティング会社と契約を結び、令和2年度に新たな組織としてスタートするために準備を進めた。

同時に事務事業の効率化、費用対効果を高め、経費の削減を行いながら安定した経営に取り組んだ。

I. 法 人

1. 理事会の開催

第1回（令和元年5月24日）理事6名 監事2名

承認第1号	平成30年度事業報告について	承認
承認第2号	平成30年度決算について	承認
議案第1号	役員（理事・監事）の改選について	承認
議案第2号	「人事考課規程」の制定について	可決
議案第3号	「公印規程」の制定について	可決
議案第4号	定時評議員会の招集について	可決
職務執行状況報告		
建物換気設備の調査、医療連携体制の変更		

第2回（令和元年6月9日）理事6名 監事2名

議案第5号	理事長の選定について	可決
議案第6号	業務執行理事の選定について	可決
議案第7号	社会福祉法人峰林会 職員給与規程の一部改訂について	可決

第3回（令和元年11月27日）理事4名 監事2名

議案第8号	金銭消費貸借契約の連帯保証人の変更について	可決
議案第9号	文書規程の制定について	可決
議案第10号	人材紹介並びに人材定着奨励金規程に制定について	可決
職務執行状況報告		

収入支出報告並びに決算見込み、組織・給与体系の見直し、ゆうゆうケア・ワン用送迎車両助成申請、台風19号被害・長期停電の対応、床ワックス清掃実施、外壁塗装

の実施に向けて、使用電力会社の変更、経費の削減と新たな支出

第4回（令和2年1月19日）理事6名 監事1名

議案第11号	令和元年度 収入支出補正予算について	可決
議案第12号	経理規程の制定について	可決
議案第13号	評議員会の招集について	可決
職務執行状況報告		
社会福祉法人峰林会中期計画（令和2年～4年）策定、日本財団車両助成申請決定		

第5回（令和2年3月28日）

※新型コロナウイルス感染症予防のため「書面決議」

議案第14号	職員就業規則の一部改訂について	可決
議案第15号	非常勤職員等就業規則の一部改訂について	可決
議案第16号	職員給与規程改定の一部改訂について	可決
議案第17号	育児・介護休業規程の一部改訂について	可決
議案第18号	特定職B転換規程の制定について	可決
議案第19号	パートナー職員等給与規程の制定について	可決
議案第20号	妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント及びセクシュアル ハラスメントの防止に関する規程の制定について	可決
議案第21号	積立金規程の制定について	可決
議案第22号	峰林会中期経営計画書の策定について	同意
議案第23号	令和2年度峰林会事業計画について	同意
議案第24号	令和2年度峰林会収入支出予算について	同意
議案第25号	定時評議員会の招集について	可決
職務執行状況報告		
峰林荘における新型コロナウイルス対応について		

2. 評議員会の開催

第1回（令和元年6月9日）評議員5名 監事2名

報告第1号	平成30年度事業報告について	承認
承認第1号	平成30年度決算について	承認
議案第1号	理事・監事の選任について	可決
報告第2号	理事会で決定した重要事項について	
人事考課規程の制定、公印規程の制定		
職務執行状況報告		
建物換気設備の調査、医療連携体制の変更		

第2回（令和2年1月19日）評議員6名 監事2名

承認第2号 令和元年度 収入支出補正予算について 承認

報告第2号 金銭消費貸借契約の連帯保証人の変更について

報告第3号 文書規程の制定について

報告第4号 人材紹介並びに人材定着奨励金規程の制定について

報告第5号 経理規程の制定について

職務執行状況報告

組織・給与体系の見直し、日本財団車両助成申請決定、床ワックス清掃実施、使用電力会社の変更、経費の削減と新たな支出

第3回（令和2年3月28日）

※新型コロナウイルス感染症予防のため「書面決議」

議案第2号 峰林会中期経営計画書の策定について 承認

議案第3号 令和2年度峰林会事業計画について 承認

議案第4号 令和2年度峰林会収入支出予算について 承認

報告第7号 職員就業規則の一部改訂について

報告第8号 非常勤職員等就業規則の一部改訂について

報告第9号 職員給与規程改定の一部改訂について

報告第10号 育児・介護休業規程の一部改訂について

報告第11号 特定職B転換規程の制定について

報告第12号 パートナー職員等給与規程の制定について

報告第13号 妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント及びセクシュアルハラスメントの防止に関する規程の制定について

報告第14号 積立金規程の制定について

職務執行状況報告

峰林荘における新型コロナウイルス対応について

3. 安定した人材の確保・人材育成に向けた取り組み

組織の再編、職務職責の明確化並びに人件費の見直し（令和2年度に向けて）

技能実習生受入（サポートチームの編成）

モンゴル人2名

4. 医療連携の充実にに向けた取り組み

24時間体制協力医療機関との契約締結

総合守谷第一病院

5. 地域連携

地域行事への参加

大野地区まちづくり協議会構成員としての連携
 大野ふれあい祭り、大野福祉祭りの開催協力
 地域交流ホールの活用
 介護教室、夏祭り、地域会議へ会場提供

6. 広報活動

ホームページの全面リニューアル
 広報紙「虹だより」発行

7. 新型コロナウイルス感染症予防対策

状況に応じた対応マニュアルの作成、見直しを行い、対応できる限りの予防措置を行った。

Ⅱ. 特別養護老人ホーム 峰林荘

入居者が安心・安全に生活していただけるよう、職員間のコミュニケーション、家族とのコミュニケーションを大切にして質の高いサービス提供に努めた。

1. 入居者概況（年度末）

(1) ユニット棟：40床

①要介護度状況

	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
男	0	1	6	2
女	1	8	12	8
計	1	9	18	10
割合 (%)	3	24	47	26
平均介護度	4.0			

②保険者別入居者状況

	守谷市	常総市	河内町
男	8	1	0
女	28	0	1
合計	36	1	1

(2) 地域密着棟：20床

①要介護度状況

	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
男	0	1	0	3
女	2	6	4	4

計	2	7	4	7
割合 (%)	10	35	20	35
平均介護度	3.8			

②保険者別入居者状況

	守谷市	取手市
男	4	0
女	15	1
計	19	1

2. 全体行事

(1) 施設内行事

桜花見会（4月）、夏祭り（8月）、敬老会（9月）、クリスマス会（12月）を実施。
夏祭りの暑さ対策として、会場を正面玄関前や地域交流ホールに移して行った。

(2) 地域との関係（夏祭り）

地域のボランティアにより模擬店を運営。近隣の方々には模擬店や抽選会を楽しんでいただいた。

3. 地域との取り組み

(1) 地域行事への参加

太子堂花祭り（5月）

入居者がお参りし楽しんだ。

(2) 地域との連携

総合防災訓練（地域住民参加）

入居者の避難、消火訓練等を行った。

コンビニ訪問販売（月1回）

地域の方々にも開放し、より気軽に買い物ができるように計画した。

4. ユニット棟 もみじ

- ・家族との面会時に現状報告をして情報共有を図り、できる限り本人・家族の望む暮らしをつくるよう努めた。また、誕生日会の参加を依頼するなど交流と信頼関係の維持に努めた。
- ・誕生月の誕生日会の開催、四季の行事を通してより季節感を味わえるイベントを行った。
- ・他職種と連携を図り、必要に応じて随時担当者会議を開催した。
- ・「安心」「快適」な暮らしづくりに努めた。
日々の暮らしに意欲が持てるように、普段の生活の中でお菓子や飾り作り
入居者といっしょに行う季節の飾り付け
その方の状態に合わせた福祉用具等の環境整備
- ・職員が日々課題を持った取り組みを行い、更なるサービスの質の向上のために、職員が

意見を出し合い、形にして行きやすい環境作りに努めた。

5. ユニット棟 ひまわり

- ・介護記録システム「ケアカルテ」のモバイル機器（ipad）の使用方法や職員間の話し合いを持ち職員間の情報共有に努めた。
- ・誕生会や季節の行事を行った。
- ・日々の家族との面会時や電話により、状態の報告をしながら行事への参加を促し協力依頼に努めた。
- ・季節感のある暮らしづくりのために、ユニット内の飾り付け、中庭の花壇、菜園作り、花見、近隣への外出を行った。

6. ユニット棟 すみれ

- ・新しい取り組みとして、オムツ用品など備品の配置の変更、入居者ができる体操の実施、介護方法や時間の統一を行った。
- ・ユニット費を活用して、パズルやミニゲームなど入居者のレクリエーション用品を充実させるとともに備品の修理、買い替えなどに努めた。
- ・家族の協力を得て外出を行った。
- ・職員間のコミュニケーションを図り情報共有に努めた。

7. ユニット棟 花みずき

- ・入居者の変化に柔軟性を持って臨機応変に対応していくための情報共有に、職員間で細部までの申し送りの他に、ライン、連絡ノートを活用しすぐに対応できる体制づくりをした。
- ・「多くの人が支え合って成立する仕事」ということを念頭に、入居者に寄り添う姿勢で支援するために、多職種との連携、家族の協力、職員との対話の時間を増やし、ケアの質の向上に努めた。
- ・その方のやる気を引き出し活気ある生活を送れるように支援した。
- ・理学療法士の指導の下、リハビリや生活動作の支援に積極的に取り組み、自食が困難な方も自力での食事をする意欲が少しずつみられるようになった。
- ・入居者個々の誕生した日に誕生日会をし、手作りおやつを提供をして誕生日を祝った。
- ・家族の面会時に日々の生活状況の報告をし、食事介助等の協力も得ることができた。

8. 地域密着棟

- ・職員ケア向上のための勉強会を月一回の地域密着型会議の中で行った。
- ・アクティビティを活用したケアとして、日替わりで歌や体操、口腔体操など各職員のアイデアで行えた。
- ・毎月のお楽しみ会と入居者の誕生会の開催他、季節ごとのイベントを行った。
- ・生活相談員と連携を取り、入居者の状態や現状の報告を家族にし、必要に応じサービス

担当者会議を実施した。

- ・家族に各行事、イベントへの参加を促し、入居者と一緒に過ごして頂ける時間を提供し家族とスタッフの信頼関係構築に努めた。
- ・入居者の日用品、消耗品の管理調整を行った。

9. 地域密着運営推進会議

会議開催数 6回（奇数月）※うち1回は書面会議

2か月に1回、守谷市介護福祉課、峰林荘地区担当民生委員、入居者家族代表者参加のもと、峰林荘地域密着型の状況と取り組みの報告をし、峰林荘の特色をより多く発信した。新型コロナウイルス感染予防のため、6回目の会議は書面による報告と意見収集をした。

10. 入居検討委員会

入居申込者に対し電話や直接面接を行い、待機している状況に不安を生じさせないように電話でフォローをした。

申込者全件に郵送により現在の状況を把握するための調査を行った。

入居待機者状況（年度末）

年度	平成30年	平成31年	令和元年
入居待機者数	69名	69名	85名

11. 家族会

家族会クリーン活動では、窓拭き、エアコンフィルター、ブラインド等、掃除が行き届かない所を中心に清掃をした。

家族会会費より各行事の食事代、クリスマス会のプレゼント・ケーキ代、誕生会手作りケーキ代の補助を行っている。

入居者の日々の変化を把握し報告するだけでなく、実際に来荘して日常の生活状況をご覧いただく機会を増やすよう家族に対して声掛けを行った。

- (1) 花見会（4月）
- (2) 夏祭り（8月）
- (3) 家族会クリーン活動（11月）

Ⅲ. 峰林荘短期入所生活介護事業所

1. 短期入所施設（従来棟5床）稼働状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延利用者数	155	159★	152★	153	141	146
稼働率	100	102	101	98	92	97

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用者数	140	161★	151	155	139	153
稼働率	90	107	97	100	95	98

※利用者数は延べ利用者数：ベッド稼働日数★施設空床分を含む

2. 行事

地域密着棟の行事に入居者と一しょに参加した。

IV. 医務課

入居者の「その人らしさ」を大切にしながら日々を安全に安心して過ごして頂くように努めた。週2回の医師の往診の他、状態変化時等は電子連絡帳にて報告、相談しており、密に医師との連携が図れている。

状態変化時には担当国会議を開催し、家族への状態説明も医師から説明をするなど段階を踏んで行った。

介護記録システムの「ケアカルテ」も使って、多職種との連携を図りながら状態把握に努めることができた。また、何か変化があった際は適宜声掛けを行い連携が図れた。

施設における看護師の役割の追求を引き続き行っていく。

1. 主な取り組み

(1) 医務会議の開催

毎月第二火曜日に開催し、報告や特記事項等について検討した。

(2) 誤薬、飲み忘れ対策

各部署リーダーと協議し、対策案等を協議した。

(3) 新型コロナウイルス感染症対策

多職種と連携しながらマニュアルを作成し適宜更新を行った。

2. 定例的な取り組み

(1) 入居者の定期健康診断（総合守谷第一病院）実施（4月）

(2) 入居者の体重測定（1回/月、状態変化時、随時）

(3) 入居者、職員の感染症対策のインフルエンザ予防接種実施（11月）

V. 栄養調理課

1. 献立、調理

献立作成は、旬の食材や果物を取り入れ、楽しんで頂ける食事提供を行った。それぞれ個人に合わせた食事形態などの対応もできた。嗜好の個人差や身体機能の低下により、食べる行為そのものが困難になった入居者に食事を食べて頂ける様に“食べてもらう工夫”を日々、多職種でコミュニケーションをとり連携し、試行錯誤しながらも対応ができた。

季節や行事を感じるように旬のものを料理し、季節感を出したり盛り付け方法や提供方法の工夫で行事感を味わえる食事提供を行った。また、薬での排便コントロールではなく、献立にヤクルトやヨーグルトを入れ、希望によりオリゴ糖の摂取で排便サポートを行った。

2. 効率化、見直し

厨房内作業の効率化・衛生管理の徹底・食中毒発生予防・食事仕分けミス防止については、話し合いながら見直しをすることができた。調理員は、安全で美味しい食事提供を行った。

3. 情報共有

委員会会議、担当者会議、厨房内会議等を毎月開催し、情報発信、意見交換を行った。多職種とコミュニケーションを密にとり情報の共有し、入居者の変化に応じて食事形態などの対応と栄養サポートを行うことができた。

VI. 各種委員会

1. 安全衛生委員会

職員がより働きやすい職場環境づくりに向けて、産業医と連携しながら、外的な環境のみでなく、ストレスの解消などの内的な取り組みを行った。

産業医による全体研修では「健康について」の助言と指導があった。

職場環境の快適性、安全性などのチェックを毎月1回行い、快適な環境作りに努めた。

(1) 健康診断

(2) ストレスチェック

2. 安全対策委員会

感染症マニュアルについてはインフルエンザのマニュアルを見直し作成した。他マニュアルも適宜、継続して見直しをする。

看取りについて多職種連携のもと、医師の判断で看取り介護の書類を交わした。適宜家族への状態変化時に報告をした。

(1) 感染症

感染症に関しては適宜多職種や上司と相談しながら対応等を検討した。感染症対策情報及び制限などの対応への理解を家族に求めた。

(2) 看取り

看取りに関しては適宜担当者会議等で多職種連携のもと話し合うことができた。

(3) インフルエンザ対策

対応マニュアルの見直しを行った。元年度は流行時期が早く、今までよりも早めに面会等の制限を行った。入居者への感染はなかった。

(4) 食中毒対策

食中毒等の注意喚起、衛生管理を行った。

3. 防災委員会

地域住民と合同で避難訓練を含めた防災訓練を実施した。総合避難訓練を2回（日中・夜間想定）実施した。防災設備の点検及び使い方の確認、検証をした。

(1) 避難訓練

7月 7日（日）〔日中想定〕

11月24日（日）〔夜間想定〕

(2) その他

消火器13本の入れ替えを行った。

4. 研修委員会（全体・OA化促進勉強会）

施設内全体研修として次の研修を行った。一部の研修で講師の手配ができずDVD視聴やYouTubeの動画視聴になった。

(1) 全体研修

月	日	内 容	講師
4	10	全体会議（法人理念及び運営方針） 職業倫理・守秘義務・権利擁護・虐待及び身体拘束①	理事長・施設長 課長 上嶋貴彦
5	10	感染症①（食中毒関連）	県立医療大 桜井先生
6	12	事故防止①（脱水症予防対策）	ヘルシーフード（株） 古賀氏
7	10	事故防止②（リスクマネジメント・ストレスマネジメント）	損保代理店 一ノ瀬氏
8	7	接遇・マナー（プライバシー）	元NHKアナウンサー 小倉氏
9	18	健康について（職員の健康管理）	産業医 野村医師
10		台風接近のため延期	
11	13	感染症②（インフルエンザ等）	課長 近野睦希
11	13	認知症について（認知症と医薬品）	DVD 視聴
11	10	地域合同避難訓練（濃煙体験及びAEDの使い方）	消防署等
12	11	高齢者の虐待及び身体拘束②、褥瘡防止について	動画視聴
1	8	高齢者の食事	動画視聴
2	12	急変時の対応、看取り及びメンタルケア	資料配布
3		新型コロナウイルス感染症予防のため中止	

(2) 施設内特別研修

月	日	内 容	講師
2	12	人事制度再構築事業の全職員向け説明会 ①13:30～ ②16:00～ ③18:30～	エイデル研究所 勝本氏
3	5	「ケアカルテ」勉強会 ①13:30～ ②16:00～	(株)富士データシステム 土屋氏

5. 給食・褥瘡予防委員会

(1) 給食

栄養士・調理師（員）会議を月一回開催し情報伝達や意見交換を行った。給食については、季節や行事を感じられ彩りも配慮し、楽しく、美味しく、安全な食事やおやつを日々提供し、利用者の食事摂取量や食事形態を、多職種連携にて情報交換を行い対応することができた。また、栄養補助食品等の検討を行い提供することができた。

(2) 褥瘡予防

職員で情報交換をしながら褥瘡の早期発見や状態把握に努め、月1回医務会議（情報交換）を実施した。

褥瘡の写真を定期的に撮り、介護記録システム「ケアカルテ」で評価するという形で状態把握を行い共有した。

6. 環境整備・メンテナンス委員会

(1) 故障や建物の不具合

設備担当職員を1名配置しスムーズに修理対応ができた。

(2) 峰林荘全館の床ワックス清掃を行った。

(3) 雨水対策のため、駐車場の一部で土嚢積工事を行った。

(4) 公用車買い替え等

車種（ナンバー）	初年度登録	部署	時期	備考
ハイエース（120）	平成19年3月	峰林荘デイ	令和2年1月	下取り
ハイエース（2001）	平成25年9月	峰林荘デイ	令和2年1月	リース車両配置
キャラバン（3199）	平成17年2月	ゆうゆうケア・ワ	令和2年2月	廃車
キャラバン（2002）	令和2年2月	ゆうゆうケア・ワ	令和2年2月	日本財団車両配置
サンバー（931）	平成16年3月	あかり居宅	令和2年3月	廃車

7. 広報活動委員会

(1) ホームページの全面リニューアル

(2) 写真コンクール（主催・県老人福祉施設協議会）に応募
佳作1点、入選2点

(3) 広報紙「虹だより」発行

5月、9月

(4) ゆうゆう・ケアワンのツイッター開始

3月

8. リスクマネジメント・身体拘束廃止（虐待防止）委員会

入居者の自尊心を尊重した制限のない暮らしづくりに向けて努力した。

身体拘束具の排除はもちろんのこと、生活空間、動作、精神的な制限などが（無意識に）行われていないか、運営会議の中で確認を行った。

(1) 事故発生件数

男性 20件 女性 68件 <合計 88件> ※峰林荘（含む短期）

(2) 発生状況

事故内容		発生時間帯		発生場所	
転倒	33	6時～11時	35	居室	32
転落	12	12時～17時	17	ホール	25
誤薬	4	18時～24時	18	浴室	7
トラブル	1	0時～5時	13	トイレ	15
徘徊	1	不明	5	廊下	4
紛失	1			玄関	1
その他※	36			脱衣室	1
				寮母室	2
				不明	1

※その他の事故内容

表皮剥離、傷や皮下出血、表皮剥離の発見、尻もち、服薬忘れ等

9. 苦情処理委員会

苦情や要望を真摯に受け止めて、質の高い介護サービスを提供したいが、報告数が少なく、苦情をだしやすい環境づくりが今後の課題である。

事業所名	内容	対応
峰林荘	おやつにいつもスナック菓子をださないでほしい。(家族)	職員がおやつを購入しているが、スナック菓子のほか手作りのおやつも実施している。
	話し相手がないので、傾聴ボランティアと話をしたい。(利用者)	コロナ感染症が終息後に受入れを予定する。
	居室の汚れが気になる。(家族)	定期的に掃除はしているが、気づいたら掃除をするように気を付ける。
	利用料の領収書に添付してある立替金明細書に往診日を明記してほしい。(家族)	立替金の明細書に往診日を記載するようにした。
短期入所	帰宅日の荷物に、薬の残りが入ってなかった。帰りに荷物の確認をしてほしい。(家族)	お詫びをし、今後は忘れ物がないように注意することを説明した。
すずらん	買うものを忘れてたり、連絡なしで代	利用者は話をしたことで納得してい

訪問	替品を買ってくるので、困る。(利用者)	るが、買い忘れがないように注意をし、代替品になる時は連絡をすることを徹底する。
	ヘルパー訪問後に物がなくなる。(利用者)	訪問時にヘルパーはカバンなど持ち込まないようにする。利用者の認知状態に応じた対応をする。
デイ	散歩させてほしい。歩けるリハビリをしてほしい。(家族)	利用者本人が散歩を嫌がる時も、なるべく声掛けをして散歩をする。

Ⅶ. 峰林荘通所介護事業所

利用者と日々コミュニケーションをしながら、些細な変化に気付き、体調などに合わせたサービスを提供する事ができた。

また、職員間とも口頭や申し送りノートにて情報共有を行うことができた。他事業所には身体状況の変化などがあった場合には、情報を提供し他職種連携を図った。

毎月、担当職員を中心に利用者が楽しめる内容のレクリエーションや行事を計画・実施を行った。新しいレクリエーションは、情報誌やネットを活用し取り入れてきた。

毎月第3水曜に関係職員で、デイサービス会議を開催し現状で困っている事などの話し合いの場にした。

送迎時に家族とのコミュニケーションを図り、家族・自宅での生活で困っている事などの把握やアドバイス、ケアマネジャーへの情報提供を行った。

広報誌やツイッターで行事内容を掲載し、利用者のデイを楽しむ表情などを載せることができた。

安全運転や地域の見守りを心掛けながら、送迎を行った。新型コロナウイルスの影響もあったが、気候の良い時には外出の行事を行った。

新規や実習生の受入も積極的に行い、居宅への営業も行いましたが目標数の40名には届かなかった。車両メンテナンスは、運転職員が積極的に行い綺麗な車両を保つことができた。

(1) 月別利用者実人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
33	33	34	37	37	39	37	36	35	35	33	33	422

(2) 月別利用者延べ人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
262	203	249	336	343	334	336	302	278	265	249	263	3420

平均利用延人数 285 人 (前年度 260.8 人)

(3) 年齢別利用者数 (令和2年3月)

区分	男	女	計	割合 (%)
----	---	---	---	--------

～64	0	0	0	0
65～74 歳	0	1	1	3%
75～84 歳	3	4	7	21%
85～94 歳	4	12	16	49%
95 歳以上	1	8	9	27%

(4) 行事への取り組み

季節ごとに季節感の感じられる行事企画を立て、「見る」「食べる」「体験する」を基本コンセプトとして取り組んだ。

月	内 容	日常の取り組み
4	花見会	貝飾り制作
5	鯉のぼりドライブ	お花の壁飾りの制作
6	四季の里公園散策（あやめ見学） 作品展の見学（キターレ）	折り紙・傘の制作
7	七夕	七夕飾り・ひまわりの飾り制作
8	夏まつり（ゲーム・おやつ）	夏祭りの準備・的当てゲーム
9	敬老会（ギターサークル様・ドルチェ様）	小物入れの制作
10	オカリナボランティア様 運動会 ゆめっこ支援センターの子供達と ハロウィン交流	メダル制作・ゲーム・散歩
11		紅葉壁飾り制作・クリスマスツリー作成
12	ギターサークルなごみ様 パネルシアターボランティア様 クリスマス会	クリスマスツリー飾りつけ・カルタ・パターゴルフ
1	初詣 体操教室	カルタ・福笑い・椿の花制作
2		椿の花制作・かさ地藏制作
3	桜花見ドライブ・お花見散歩	紙相撲大会・小物入れ制作

定例行事 書道、手作り昼食・おやつ、音楽クラブ、華道クラブ

カレンダー作り・誕生会－毎月

学習療法（脳トレ）－毎日

傾聴ボランティア「ジャスミン」－毎月

（新型コロナウイルス感染予防の為、令和2年2月より受入中止）

VIII. すずらん訪問介護支援事業所

職員間のコミュニケーション・情報共有に努め利用者に迷惑が掛からないようサービスの

提供を円滑に行った。ケアマネジャー・他事業所との連携を図った。車両の点検等の環境整備及び安全運転を心がけた。

毎月すずらん会議を行い、情報の共有を図った。申し送りノートを活用し、情報共有に努めた。外部研修に参加した。

訪問時や担当者会議時の家族とのコミュニケーションを大切にした。訪問時の利用者の状態変化等をケアマネジャーを通し連絡した。地域包括支援センターとの連携を図った。

(1) 保険者別利用者数

守谷市	46名
つくばみらい市	1名
合計	47名

(2) 要介護状態区分別 利用者数・訪問回数

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
利用者数	9	5	14	8	6	5	0
訪問回数	464	582	1060	365	370	983	0

IX. あかり居宅介護支援事業所

元年度から事業所の体制が評価される特定事業所加算を取得し、週1回定期的に会議を行い事業所としての質の向上を目指した。

担当者会議や退院時カンファレンス等に参加し医療や多職種との一層の連携を図った。

週1回あかり会議として定例会議の開催や、事例検討会、研修、行事に積極的に参加し地域の実情や介護保険の情報については情報を提供に努めた。

利用者の自立やその人らしい暮らしをめざし、支援していく姿勢を持ち、利用者や家族、各関係事業所、医療関係者との連携強化に努めた。

1. 介護給付実績件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	121	125	125	127	130	130	134	136	136	137	136	133

2. 介護予防給付実績件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	31	29	31	31	32	34	35	33	33	33	32	31

3. 守谷市要介護認定の更新調査委託業務

件数 3件

X. 在宅介護支援センターもりや

生活状況調査や高齢者世帯状況調査、夏の熱中症訪問、地域活動推進業務を通じて、地域の高齢者の福祉への需要を収集し地域との関わりを築くことができた。

定期的に在宅介護支援センターとして地域交流スペースを利用し、地域介護教室兼オレンジカフェを8回開催し、地域の方により身近に日頃の心配事や介護のことを話し合う場に多くの方々に参加していただいた。商工会まつりや認知症サポーター養成講座へも参加した。

月	イベント	地域介護教室 オレンジカフェ	月	イベント	地域介護教室 オレンジカフェ
4月	在介定例会議 (市役所)	地域交流ホール	9月	認知症イベント 商工会まつりに参加	地域交流ホール
5月		地域交流ホール	10月	認知症サポーター養成講座(高野小学校)	地域交流ホール
6月	在介定例会議 (市役所)	地域交流ホール	12月		地域交流ホール
7月	熱中症予防訪問実施 (26件)	地域交流ホール	2月	認知症サポーター養成講座(守谷中学校)	地域交流ホール

XI. デイサービスセンター ゆうゆうケア・ワン

「新規利用者の獲得」において積極的に見学や体験利用を受け入れ、また、徹底して全職員が周知して行ってきた「接遇」が、外部からの高い評価の声も聞かれ、利用者の増加につながったと感じている。

利用者、家族、関係機関との日ごろのコミュニケーションから、個々のニーズに合わせた柔軟な対応を図ることに努めた。「自発的な行動と業務の効率化」という目標について、各業務において自らの行動の振り返りを行い、起こる課題に向き合いながら、サービスの質の向上に努めた。

毎日のミーティング実施と定期的に「ゆうゆう会議」を開き、業務の効率化統一化、また、情報の共有を図り、サービスの向上に努めた。

季節に合った行事やレクリエーションを提供し実施した。その1つに、施設周りに花壇を作り季節の花々を楽しんでいただいた。

広報活動及び情報発信として、月に1回「ゆうゆう新聞」を発行し、活動状況や施設からの情報をお伝えした。また、3月からはツイッターによる情報発信も行うようになり、今後

も活動状況の発信に積極的に努める。送迎時や連絡帳での情報の交換を密に行い、利用者の状態や状況を確認し、情報を共有しサービスの向上に努めた。

地域、ボランティアとの交流は、地域の行事や交流の場への外出は、利用者の安全を考慮し行わなかったが、近隣の保育所との交流や、施設周りの散歩など積極的に行った。傾聴ボランティアの方、ボランティアポイント制度の方などの来訪により、地域の方々との交流を楽しんでいただいた。様々なボランティア団体の方の定期的な来訪もあり、楽しみのある時間を提供することができた。新型コロナウイルス感染症拡大防止ため、2月後半よりボランティアの来所を控えていただいた。

大学生介護等体験の受け入れを積極的に行い、利用者が若い世代の方との交流をととても楽しまれた。

避難訓練を10月と11月に行い、職員・利用者ともに、避難時の心得を再確認した。

日本財団の助成もあり、送迎車を入れ替えることができた。このことは、利用者や家族に喜んでいただくことができた。今後もさらに安全運転に心がけ、大切に使用していく。

新型コロナウイルスの影響により、心配のため利用休止者が多く、3月の利用者数が減少し、次年度にも影響が出るようになると思うが、利用者が安心して利用できるよう、また職員の体調管理も徹底し、感染症防止拡大対策を引き続き行っていく。

(1) 月別利用者実人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
41	44	43	45	46	43	44	43	45	45	47	42	528

(2) 利用者延人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
389	403	381	422	412	359	396	401	380	358	404	367	4314

平均利用延人数 369.5 人（前年度 316 人）

(3) 年齢別利用者数（令和2年3月）

区分	男	女	計	割合 (%)
～64		1	1	2%
65～74 歳	1	1	2	5%
75～84 歳	6	9	15	36%
85～94 歳	4	17	21	50%
95 歳以上	1	2	3	7%

(4) 行事への取り組み

季節感を味わえる行事や、利用者の趣向や身体状況に合わせ、主体性や満足度を高める様々な活動を提供・実施した。

また、日々の活動において、脳の活性化を図り、認知症の進行防止・予防につながる

活動、個々に楽しみのある時間を提供するよう努めた。

月	行事・レクリエーション	作成物・その他
4	花見（桜・チューリップ） 鯉のぼり見学	壁面飾り（藤の花・鯉のぼり） 鯉のぼりのつるし飾り
5	ゆうゆう農園イチゴの収穫祭 菖蒲湯 花見（あやめ・ポピー・つつじ） おやつレク（ちまき風クレープ）	壁面飾り（水芭蕉・水蓮）
6	花見（あやめ・紫陽花）	七夕飾り（風鈴短冊） 壁面飾り（睡蓮）
7	ゆうゆう夏祭り まつやま保育園との交流会	風鈴短冊 夏の壁面飾り
8	まつやま保育園との交流会	壁面飾り（花火） コスモスの花作成 9月のカレンダー作成（案山子）
9	敬老お祝い（感謝状授与） 花見（コスモス）	壁面飾り（コスモス） 秋の壁面（お月見と桔梗）
10	ゆうゆう運動会 まつやま保育園との交流会 花見（コスモス） 避難訓練	秋の壁面飾り（リンゴ園）
11	おやつレク（芋きんつば） 避難訓練	壁面飾り（菊の花） クリスマスツリー飾りつけ
12	クリスマス会 おやつレク（クリスマスケーキ）	冬の壁面飾り（雪の結晶・クリスマスツリー） 干支の置物作成（ねずみ）
1	初詣（板橋不動尊）	干支の壁面飾り（絵馬） 干支の置物作成（ねずみ）
2	雛飾り 花見（しだれ梅）	壁面飾り（菜の花・桜） 雛飾り工作
3	まつやま保育園との交流会 花見（桜）	春の壁面飾り（桜） 押し花作成 園芸（苗植え付け・種まき）

定例行事 誕生日会・イベント食・華道教室・書道教室

※毎月、ボランティア団体の方々の定期的な来訪により、地域の方との交流と楽しみのある時間を過ごしていただいた。